

分野： (2) COPDに関する調査研究
① COPD患者の自己管理と重症化予防

(2)-①

申請課題名：COPD身体活動性関与因子の詳細分析と目標値設定に基づく自己管理法の構築

調査研究代表者氏名：南方良章

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	0人	4人	2人	0人	0人	3.67
(3) 研究計画の妥当性	2人	3人	1人	0人	0人	4.17
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.92
(6) 総合評価(第2評価)	1人	2人	3人	0人	0人	3.67
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						3.83

2 記述評価

・目標値が個別に設定できたあとの継続した介入方法を本人、周囲を含め具体的に最終年度は示してもらいたい。

・症例数をさらに集積するとして、達成すべき症例数についてどのような目標を立てているか。重症度ごとに満足できる症例数の確保には時間を要すると思う。しかし、本研究が生かされる対象は、重症度で言うと中等症が中心になると予測する。研究対象を実際に活用して恩恵を受けると考えられる重症度にある程度絞って研究を重ねて完成度を高めてほしいと思う。内容的には実用化によりCOPDの臨床への貢献度は大きいと考えられる。対象者に6MWと循環器の評価が提示されているシステムを普及する上では必要だと考えられる。地域差の有無の検証も必要になることが考えられる。

・6つの検討は、それぞれ、それなりの成果が得られているが、大きい一つの研究として、COPDの身体活動性関与因子と目標値設定に基づく自己管理法をどのように、まとめあげるか。

・本邦におけるCOPD患者の実態を解明しつつあり、成果が期待される。

・歩数目標設定法の有効性の検証をさらに進めるとともに、アプリの改善等を行って、実際にCOPD患者の自己管理に役立つものにしてほしい。